

舗装面取工法を実施しました

東部土木事務所 道路管理班

●工法概要、特徴

部分打換、側溝修繕等の舗装修繕において、通常はカッター切断による舗装の打継となり、密着性が悪く、接合部に剥離等が発生し、舗装の弱点箇所となっている。

当工法は、舗装切断後の断面を専用の機械により特殊ビットで斜めに面取りし、かつ表面を凸凹にすることで接合面の密着性を高め、舗装の耐久性向上を図る工法である。

・技術名称 舗装面取工法 (NETIS 新技術情報提供システム 試行技術 TH-080013-A)

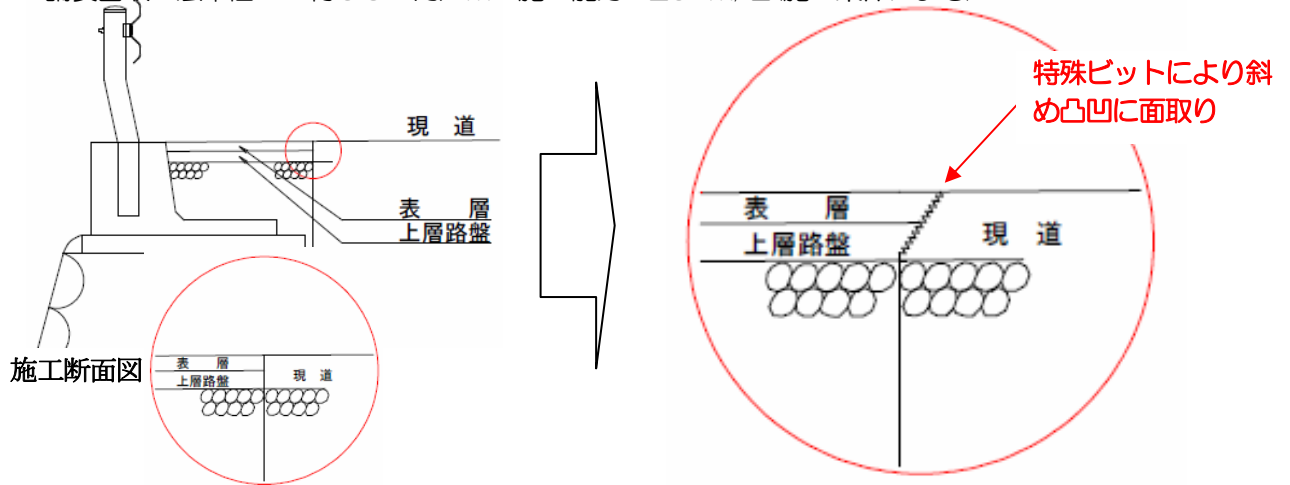
●工事概要

工 事 名 平成 20 年 0 県県交安二種 06001-A01 号 湊防護柵修繕工事

工事場所 (一) 石巻雄勝線 石巻市湊字藤巻地内

工事概要 プレキャスト防護柵基礎 L=284m ガードレール(GR-B-2B ヌキ) L=275m

舗装面取工法単価 約380円/m 施工能力 250m/日(施工条件による)



●施工後の感想

機械の操作は、メーカーの指導により作業員が操作を行ったが、比較的簡単に操作することが出来た。舗装の施工性、仕上がりも特に問題なく、舗装の耐久性向上に有効な工法であると感じた。